

宇奈月をアートのまちに 多摩美大生ら創作活動



創作活動に励む学生たちを激励する牟田所長(右)ら

【黒部】 黒部市宇奈月温泉を若手芸術家たちの活動拠点にしてもらう「ストリートギャラリー宇奈月」が、同所で行われている。2月末から滞在している多摩美術大(東京)の学生ら5人が、絵画や映像といったさまざまな分野で創作に励んでおり、8日は関係者が訪れ、激励した。

北陸新幹線開業を見据え、芸術でまちおこしを目指す「アートのまち宇奈月実行委員会」(川端康夫会長)が初めて企画。「文化の発信ができる温泉街を創造する」をテーマに、全国から若手作家を呼び込み活性化につなげる。県の観光地活性化モデル事業の補助を受けている。

この日は、多摩美術大に協力を呼び掛けたNPO法人教育研究所(横浜市)の牟田武生所長らが5人を訪問。宇奈月国際会館セレネで、学生が創作中の作品の展示時期や場所などについて意見交換した。ホテル「フィール宇奈月」などそれぞれの活動場所も訪れ、激励した。

学生たちは14日ごろまで滞在する予定。牟田所長は「アートによるまちづくりの第一歩として期待できる。今後もいろいろな大学に呼び掛けていきたい」と話した。